

あさひ議会だより

40号

平成28年
3月1日
発行

水神社永代大御神楽

千葉県指定無形民俗文化財に指定され、地元では「後草神楽」の名で親しまれています。

毎年2月の第1日曜日に水神社の神楽殿で演じられています。古式ゆかしい衣装に身を包み、優雅な舞が奉納されました。

おもな内容

| | |
|---------------|-------|
| おもな議案の内容と質疑 | 2・3 |
| 議員定数を削減、20人に | 2 |
| 正副議長選挙 | 3 |
| 一般質問 | 4~7 |
| 常任委員会の審査 | 8 |
| 第4回定例会 採決の状況 | 9 |
| 行政視察報告 | 10・11 |
| 委員会の構成が替わりました | 12 |

議員定数条例を改正 定数を2人削減、20人に

第4回定例会のあらまし

平成27年第4回定例会が、12月1日から12月16日までの16日間の会期で開かれました。開会日の1日には、議員から議員定数削減の発議案が提出され、原案のとおり可決されました。このほか、平成27年度一般会計補正予算、条例の制定や財産の無償譲渡など12議案が市長より提出され、原案のとおり可決されました。

なお、一般質問は12月7・8日の2日間の日程で行われ、9人の議員が登壇し市政全般にわたって議論が展開されました。

主な議案の内容と質疑

議員提出議案

■発議第1号

旭市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について

平成26年8月に、議員定数の見直しを検討するため議会改革検討委員会を設置し、平成27年9月までに計7回委員会を開催

し、検討してきました。議会改

革検討委員会からは、将来の人口推計や近年の厳しい財政状況、

また県内同規模自治体の議員定

数の状況を考慮し、定数を現行の22人から2人減員し20人とす

べき報告があり、議会全員協議

会で協議した結果、定数を20人に改め、次の選挙(平成29年12

月)より適用することとし、上程しました。

補正予算

(平成27年度)

■議案第1号

平成27年度旭市一般会計補正予算の議決について

歳入歳出予算の総額に歳入歳

出それぞれ3億4,170万円を追加し、予算の総額を290

億100万円とするものです。

問 ふるさと応援寄附推進事業委託料を含め、ふるさと応援基金積立金について説明願いたい。

(滑川公英議員)

答

事業を平成28年3月1日からスタートするので、1か月分を計上しました。内訳は、役務費としてクレジット払いの場合の手数料1万2,000円、委託料として専門業者への代行手数料12万9,600円、記念品代100個で30万円、記念品の送料7万円の合計49万9,6

00円です。また、ふるさと応援基金への積立てとして100万円を計上しました。

■議案第2号

平成27年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について

歳入歳出の総額にそれぞれ7,600万円を追加し、予算の総



第4回定例会の日程

12月1日(月) (開会)

- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上程
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明

◇追加日程

- 発議案上程
- 提案理由の説明
- <質疑・討論・採決>

12月3日(木)

- 議案の質疑
- 常任委員会へ議案を付託

12月7日(月)

- 市政に関する一般質問

12月8日(火)

- 市政に関する一般質問

12月10日(木)

- 建設経済常任委員会

12月11日(金)

- 文教福祉常任委員会

12月14日(月)

- 総務常任委員会

12月16日(水)

- 常任委員長の議案報告
- <質疑・討論・採決>
- 事務報告

◇追加日程

- 議長辞職の件
- 議長選挙の件
- 副議長辞職の件
- 副議長選挙の件
- 議長報告事項

(閉会)

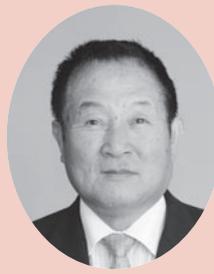
■議案第11号
地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院中期計画を定めることについて
中期目標を達成するための中期計画を定めることについて、議会の議決を求めるものです。

議長に平野忠作議員 副議長に島田和雄議員を 選出

景山岩三郎議長と伊藤房代副議長の辞職に伴い12月16日の閉会日に、正副議長選挙が行われ議長に平野忠作議員、副議長に島田和雄議員が選出されました。



島田和雄副議長



平野忠作議長



あさひ健康福祉センターでの筋力トレーニング

額を46億8,800万円とするものです。

問 高齢者助力向上トレーニング事業委託料を地域リハビリテーション活動支援事業に組み替えるとの事だが、今まで同様のサービスが受けられるのか。

答 あさひ健康福祉センターの2階で健康器具を使用して
(伊藤 保議員)

筋力トレーニングを行うもので、事業内容は継続して実施します。介護認定者以外の方が利用しているため、新年度からは、介護会計から一般会計に組み替え、所管課も高齢者福祉課から社会福祉課に替えて実施します。

その他の議案

■議案第8号
地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院定款の一部変更について

道路用地として市に帰属すべき土地と病院に帰属すべき土地を見直したことにより、定款を一部変更するものです。

■議案第9号
地方独立行政法人総合病院国保

旭中央病院に承継させる権利を定めることについて

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院に承継させる土地・建物等の権利を定めることについて、議会の議決を求めるものです。

問 今回、所有権を移すということだが、どういうことを根拠に所有権を移さなければならぬのか。
(高橋利彦議員)

答 地方独立行政法人法第66条の「移行型地方独立行政法人の成立の際、当該移行型地方独立行政法人が行う業務に関し、現に設立団体が有する権利及び義務のうち、政令で定めるところにより設立団体の長が定めるものは、当該移行型地方独立行政法人の成立の時に当該移行型地方独立行政法人が承継する。」という規定を根拠とする。

ています。

問 地方独立行政法人移行前に病院が既に借り入れていた借入金、市が債務を負い、その金額、元利償還金を病院が市へ支払うということだが、どのように担保されているのか。
(采本弥一郎議員)

答 地方独立行政法人法第86条で公営企業型地方独立行政法人は、設立団体に対し、地方債のうち、当該地方独立行政法人の成立の日までに償還されていないものに相当する額の債務を負担するよう規定されています。

■議案第10号
財産の無償譲渡について
地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院に器具備品を無償譲渡するため、議会の議決を求めるものです。

一般質問

市政に関する一般質問は12月7・8日の2日間行われ、9人の議員が登壇しました。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

財政

来年度以降の 収支計画は

(高橋利彦議員)

問 合併のメリットである交付税の優遇期間が10年目を迎えました。

現在の交付税の額と、それを市と病院に分けての額、また、交付税の算定基準となる基準財政需要額の合併時と比較した額と来年度以降の削減額について伺います。

答 交付税は平成18年度が全体で約76億2,000万円、そのうち、病院分が12億4,237万円です。次に基準財政需要額は、18年度が約131億4,100万円、25年度が147億円強です。削減額は、平成26年度のベースで考えると、今後5年間で14億円減ります。28年度は、1億4,000万円くらい減ると考えています。

平成28年度 予算編成の目玉は

(高橋秀典議員)

問

今や、地方創生に向けて、各自自治体の知恵比べの時代に突入したと言えます。そのような中で、旭市として、新年度事業として目玉になるものがあれば伺います。

答

来年度新規事業としては、子育て世代の負担軽減を図るために実施している出産祝い金制度について、現在、第3子の出産に対して20万円を支給していますが、来年度からは、第2子の出産についても支援したいと考えているところです。

また、親と子どもの絆プロジェクトとして、子どもたちの豊かな人間性と多様な個性を育む世代間、地域間での交流事業に対し、市内の公立、私立の保育所、幼稚園へそれぞれ10万円程度の交付事業を始めたいと思っています。

新庁舎建設

文化の杜公園の土地 取得額と造成費は

(高橋利彦議員)

問 文化の杜公園の用地の取得費と造成費、施設整備

費は幾らになりますか。

答

文化の杜公園の庁舎予定地の用地の取得費は、1億8,340万円です。造成費用は案分して690万円、施設整備費はインターロッキングのブロック舗装等に6,740万円、合計で2億5,770万円になります。

市民サービス 向上対策は

(林晴道議員)

問

新庁舎を文化の杜公園にした場合、海上や干潟地域においては、新庁舎が地理的、心理的に遠く感じますので、その対策として窓口業務の時間延長とその周知を行うべきではないのか。

また、公園用地として土地を提供いただいた方や、公園の環境を考慮して近隣に居住を決めた方への対応についてお伺いします。

答

窓口業務の時間延長は確かに今後必要になるかもしれませんが、費用対効果を考えながら検討させていただきます。土地の提供者や近隣にお住まいの方々にはきちんと説明をし、

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。



高橋 利彦
議員

- 1 行財政改革について
- 2 新庁舎建設について



高橋 秀典
議員

- 1 平成28年度予算について
- 2 児童虐待の防止について
- 3 創業支援について
- 4 公共施設の活用について



滑川 公英
議員

- 1 道の駅について
- 2 新庁舎について
- 3 組織改革について



有田 恵子
議員

- 1 道の駅について

さまざまな面で配慮しながら進めていきたいと考えております。

道の駅

ホームページ活用を

(滑川公英議員)



道の駅「季楽里あさひ」

問

道の駅公式サイトで検索すると、季楽里あさひは、12月5日現在、いまだに10月17日オープン予定です。季楽里あさひのホームページでも同様で、フェイスブックの季楽里あさひだけが、12月5日土曜日の新聞チラシが載せてありました。旭

市の情報発信の重要なツールを、なぜ運用できないのですか。

答

その都度、株式会社季楽里あさひに更新するよう申し入れています。ホームページ、ネットの重要性は理解しており、今後とも、皆さんの意見を会社に届けていきます。

農産物直売館の 今後は

(滑川公英議員)

問

今、広域農道沿いの農産物直売館が利用されていないが、行政として、どのように処分するのか、利用していくのか伺います。



今後の利用を検討する農産物直売館

答

農産物直売館は旭市農産物直売研究会の方が使っていました。その一部の方が道の駅に出荷しており、現在、使われていない状態であることから、今年度中にはどうするか結論を出したいと思います。

商工業

創業支援に対する 市の考えは

(高橋秀典議員)

問

創業の志を持つやる気のある方を積極的に支援することは、将来の雇用確保等、市の発展に寄与すると思えます。いったん都会に出てからのUターン創業、あるいは二次創業の促進を、積極的に進めるべきと思うが、市の考えを伺います。

答

商工会等と連携を図り、創業支援事業計画を策定し、Uターンやイターンなどにより創業を希望する方に対し、人口減少や定住促進の観点からも支援策を検討していきます。また、後継者が事業を引き継ぎ、事業転換や新事業、新分野に進出するなどの二次創業につ

いても、必要な支援を効果的に提供できるよう検討していきます。

契約

売買代金振り込みに ついて

(有田恵子議員)

問

袋公園用地売買代金2,023万円の銀行振り込みについて伺います。この振り込みは誰が指示しましたか。

答

振り込みについては、本人が決めた口座に振り込んでいるということで、本人の指示によってその口座に振り込んだと理解しています。

道路

用地買収率は

(有田恵子議員)

問

飯岡海上連絡道三川蛇園線及び旭中央病院アクセス線と道南北線について、それぞれの線の直近の用地買収率について教えてください。

2 飯岡海上連絡道三川蛇園線及び旭中央病院アクセス道(南北線)について

3 旭中央病院中期計画について

4 産業まつりについて
5 袋公園用地売買契約について

6 飯岡中学校校舎改築外構工事について



伊藤 保
議員

1 観光について
2 災害廃棄物処理計画について
3 健康・管理について
4 救急医療情報キットについて



林 晴道
議員

1 生涯学習への取り組み
2 国民健康保険特別会計について
3 新庁舎建設について
4 平成28年度予算編成にあたって
5 旭中央病院について



工事が進む飯岡海上連絡道

答

飯岡海上連絡道は平成22年度より事業を実施しており、用地買収率は平成27年11月30日現在、50名中46名で、92%となっています。

また、旭中央病院アクセス道の用地買収率は、平成27年11月30日現在、地権者75名中43名で、57%です。

健康

ロタウイルスワクチン接種に助成を

(伊藤保議員)

問 ロタウイルスワクチンについて、旭市としてぜひ

独自の接種に対する助成をお願いしたいと要望します。

答

ロタウイルスワクチンを定期接種に追加すべきとして、国ではその有効性や安全性について、専門家による技術的な検討を行っています。市としては、今後の国の動向を見守ってまいります。

介護

救急医療情報キットの導入を

(伊藤保議員)

問 救急医療情報キットについて、平成23年3月の一般質問の答弁では、地域福祉計画の中で検討していくとのことでしたが、その検討内容について伺います。

答

救急医療情報キットの導入については、具体的に検討していくと答弁しましたが、東日本大震災があり、消防署との十分な協議、検討ができませんでした。

現在、救急医療情報キットについては、新年度導入に向けて進めています。

生涯学習

インターネット環境の整備を

(林晴道議員)

問 旭市の生涯学習推進計画では、市民の多様な学習ニーズに対応し、自己に適した学習機会を選択できるよう支援するとあります。そこで市内にはインターネット環境の整備を望む団体が複数あり、整備が遅れることにより地域のコミュニティの崩壊につながりかねませんので、早期に解決していただきたいと思うのですが。

答 今、行われているのは、本庁、各支所等のロビーに業者が無償でインターネット環境を整備してくれています。学習施設の各教室、部屋にまで広げるか、そこまで必要かどうか等も含めて検討していきます。

※あらかじめ本人が救急医療時に必要な情報(かかりつけ医や薬、連絡先等)をキットに入れて自宅に保管することで、本人が救急隊へ説明することが出来ない場合でも、迅速かつ適切な対応を受けることが期待できる。



2市2町で運営する東総衛生組合

広域行政

今後の取り組みは

(木内欽市議員)

問 広域行政について、現在の取り組み状況、今後の取り組みについて伺います。

答 現在の取り組みとしては、3市で構成する東総地区広域市町村圏事務組合で実施している銚子連絡道路の整備促進事業をはじめ、ごみ処理の広域化や職員採用試験の合同実施、中学生海外派遣研修事業などです。また旭市、匝瑳市、多古町、横芝光町の2市2町で構成する東総衛生組合では、し尿及び浄化槽

汚泥の収集運搬等の処理事業、さらに銚子市、旭市、東庄町の2市1町で構成する東総広域水道企業団では、水道水の供給事業に取り組んでいます。



木内 欽市
議員

- 1 広域行政について
- 2 地方創生について
- 3 観光について
- 4 道路問題について
- 5 鳥獣被害について
- 6 庁舎建設について



林 七巳
議員

- 1 税金について
- 2 ふるさと納税について



太田 将範
議員

- 1 環境行政について
- 2 水道事業について
- 3 マイナンバー(個人番号)について

汚泥の収集運搬等の処理事業、さらに銚子市、旭市、東庄町の2市1町で構成する東総広域水道企業団では、水道水の供給事業に取り組んでいます。

今後の取り組みについては、成田空港から南ルート、県の観光バスの試行運転を、銚子市、旭市、匝瑳市の首長間で話し合っており、県に要望しています。

税金

固定資産税の 非課税の対象は

(林七巳議員)

問 固定資産税を課税しない場合、税の公平性からいってどのような基準で課税しないのかお聞きします。

答 非課税となるものは、公共の用に供する道路や用悪水路、墓地、保安林、宗教法人が専らその用に供する資産などです。これら非課税の対象に該当しない資産で、市が固定資産税を課税しないものはありません。

また、国の定める基準では、原則的に1筆の土地については一つの地目を設定し課税するとなっています。その一部分で部分的に僅少の用途がある場合は、土地全体として主たる用途で課税するとなっています。

ふるさと納税

返礼品の内容は

(林七巳議員)

問 返礼品が宿泊券等であれば、旭市に来て、土産を買ったり、リピーターになったりとメリットがあると思います。ふるさと納税について、どのような返礼品を考えていますか。

答 返礼品は、地元特産品で全国へ旭市をPRできるものとして農畜水産物及び加工品等を中心に現在、道の駅と協議を行っています。また、市内の事業者からの提供希望も考えられるため、今後広報等を通じて

募集を行うこととします。そのほか、農業体験チケット、レンタカーによる市内観光の食事付き招待券や宿泊招待券、パークゴルフ・長熊釣堀の利用券、釣り船の乗船券などの体験サービス等も検討し、特徴のあるものを随時拡大していきたいと考えています。

観光

近隣市と連携して 観光PRを

(木内欽市議員)

問 今までは旭市独自のパンフレット等を作っていた

と思うが、香取市、銚子市、匝瑳市と一体になればすごい観光スポットだと思います。パンフレットも別々に作らないで連携していくべきではないかと思うが、そのような考えはありますか。

答 香取海匝首長会では、成田市、それと都会からお客を呼び込もうという大きな狙いがあり、香取海匝の観光マップも作っていろいろ話し合っているところなんです。現実として、業者に任せるのか、職員がやるのかという問題があり、業者に任せると、香取海匝地域であるので大変な額がかかるということの中で今研究段階ということなんです。

水道

水道料金は妥当か

(太田将範議員)

問 現在、水道事業会計を見ますと多少の余裕があるという感じもします。それについて現在の水道料金が妥当かどうか説明願います。

答 水道料金は、平成19年4月に改定しました。

改定後は経営状況が好転し、平成22年度には累積赤字を解消することができ、ここ数年は1億円余りの純利益が出ています。

水道施設の更新対応等の財源はできる限り自己資金を活用して借入金の適正化を図り、将来の金利負担を軽減していくことが求められています。水道事業の安定経営や世代間の公平のためには現在の料金設定を維持していくことが必要であると考えています。

マイナンバー

適用範囲は

(太田将範議員)

問 マイナンバーは、旭市中でどう利用されるのか。適用範囲について説明を。

答 税の分野では市県民税の申告書、納税証明書の申請や減免申請書など、社会保障の分野では児童手当の現況届、生活保護の申請書、介護保険の認定申請書、身体障害者手帳の交付申請書など多くの書類で個人番号の記載が必要となります。



観光名所の飯岡刑部岬展望台

常任委員会の審査

建設経済常任委員会

12月10日(木) 午前10時～
1議案の審査

建設経済常任委員会審査の様子



議案第1号
平成27年度旭市一般会計補正予算の議決について
のうち本委員会所管事項について

問 水田農業構造改革推進事業について、飼料用米と主食用米の価格は、どのくらい違うのか。

答 補助金を含め飼料用米は1俵当たり1万1,832円で、JAの買い取り価格と比較すると、1俵当たりコシヒカリより1,032円、ふさがねより2,732円有利な金額になる。

問 「緑の募金」東日本大震災復興事業交付金は、どのような事業に使われるのか。

答 海岸市有保安林の機能回復を図る工事を行うもので、井戸野浜地先にクロマツ、トベラ、マサキを計1,664本植栽する予定である。

審査の結果

委員会付託の1議案について、全員賛成で、原案のとおり可決

文教福祉常任委員会

12月11日(金) 午前10時～
3議案の審査

飯岡中学校新校舎を視察



議案第1号
平成27年度旭市一般会計補正予算の議決について
のうち本委員会所管事項について

問 地域包括支援センター運営事業について、要支援者数はどのくらいの増加を見込んでいるのか。

答 当初予算では、2,628名を予定していたが、468名増の3,096名を見込んでいる。

問 体育館等の非構造部材で改修工事が必要な建物は、小・中学校であとどのくらいあるのか。

答 平成25年度の非構造部材の耐震点検により、改修が必要となる体育館・武道場等は20棟あり、平成27年度末までに6棟が完了する予定で、残り14棟となる。

審査の結果

委員会付託の3議案について、全員賛成で可決
委員会の審査終了後、飯岡中学校新校舎を視察

総務常任委員会

12月14日(月) 午前10時～
10議案の審査

総務常任委員会審査の様子



議案第3号
旭市ふるさと応援寄附条例の制定について

問 ふるさと納税者に対する返礼品はどのくらいの金額の品物を想定しているのか。

答 納税額が1万円以上2万円未満は3,000円相当、2万円以上3万円未満は6,000円相当、3万円以上5万円未満は9,000円相当、5万円以上は一律1万5,000円相当の品物を考えている。

審査の結果

委員会付託の10議案について、議案第8号、議案第9号、議案第10号、議案第11号は、賛成多数で、そのほかの議案については、全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決

委員会の審査終了後、香取市の災害公営住宅を視察

平成27年第4回定例会 採決の状況

○=賛成 ×=反対 議=議長 ※議長は採決に加わりません。

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | |
|--------|--|------|------|-------|--------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|--------|-------|-------|--------|------|-------|-------|--|
| | | | 林 晴道 | 高橋 秀典 | 米本 弥一郎 | 有田 恵子 | 宮内 保 | 磯本 繁 | 飯嶋 正利 | 宮澤 芳雄 | 太田 将範 | 伊藤 保 | 島田 和雄 | 平野 忠作 | 伊藤 房代 | 林 七巳 | 向後 悦世 | 景山 岩三郎 | 滑川 公英 | 木内 欽市 | 佐久間 茂樹 | 林 俊介 | 高橋 利彦 | 林 正一郎 | |
| 市長提出議案 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 平成27年度旭市一般会計補正予算の議決について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 2 | 平成27年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 3 | 旭市ふるさと応援寄附条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 4 | 旭市ふるさと応援基金条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 5 | 旭市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 6 | 旭市雇用促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 7 | 旭市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 8 | 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院定款の一部変更について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | |
| 9 | 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院に承継させる権利を定めることについて | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | |
| 10 | 財産の無償譲渡について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | |
| 11 | 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院中期計画を定めることについて | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | |
| 12 | 市の区域内の字の区域及び名称の変更について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 議員提出議案 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 旭市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

議会を傍聴しませんか

平成28年第1回定例会が3月1日から行われます。
 議会開会中は、議会を傍聴することができます。希望される方は、市役所3階までおいください。
 なお、市役所本庁と各支所ロビー、干潟公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビで、本会議の様様を

放映しています。

また、市ホームページでは議会ライブ中継及び議事録の公開をしています。

さらに、議会録画中継(本会議)も日程終了後のおおむね7日程度で視聴することができますので、ぜひご利用ください。

詳しくは議会事務局へ ☎62-5304 FAX62-5384

行政視察報告

建設経済常任委員会

本委員会は11月4日から6日までの3日間、徳島県阿南市、岡山県総社市等を視察しました。阿南市では、野球のまち阿南推進事業と新庁舎建設について、視察しました。当市は、徳島県の南東部に位置しており、臨海部の工業開発とともに徳島県南部における政治・経済・教育・文化・観光の中心都市です。平成22年4月に野球のまち推進課を設置し、野球を通じて観



総社市の地域づくり事業を視察した建設経済常任委員会

光客を誘致する事業をスタートさせました。

野球観光ツアーは市内の宿泊施設を利用し、野球の試合と市内観光がセットになったプランで、対戦相手や審判団も用意できるとのこと。また、60歳以上で構成するチアガールの応援や試合中の場内アナウンス、さらに、夜の宴会での阿波踊りサービスなどが好評で、まちをあげてのおもてなしが利用者から大変感謝されているとのことでした。

また、高校・大学・社会人野球の合宿地としても誘致しており、今年7月に屋内多目的施設が完成し、雨天時にも対応できるようになり、経済効果は数億円とのことでありました。

新庁舎建設については、地上7階・地下1階建て、延べ床面積約2万平方メートルで、免震構造を採用し、地下に90台分の駐車場を整備することとした。

総社市では、地域づくり自由交付金制度について、視察し

ました。

総社市は、岡山市や倉敷市に隣接し、近年は自動車部品の製造をはじめとした内陸工業都市、住宅都市として発展してきており、人口も微増傾向にあります。地域づくり自由交付金制度

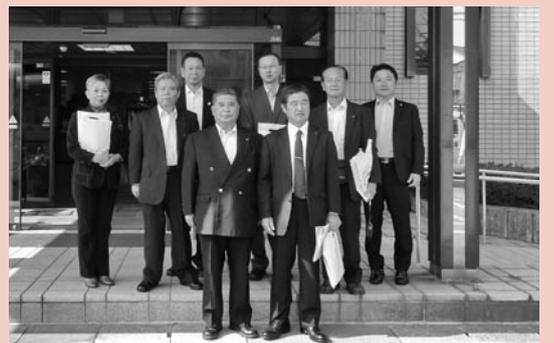
は、地域の課題を地域住民の参加と協働によって解決し、魅力ある地域づくりを住民自らが考へて事業を実施するもので、小学校区単位に新たな地域組織、「地域づくり協議会」を構築し、その組織に交付金を配分する制度です。

従来、区などへ交付していた補助金等を廃止し、この事業費の原資に当てており、均等割、人口割、高齢者配分額、道水路環境浄化配分額などにより、配分額を算定していました。

今後は地域づくり協議会を運営していく人材を育成するため、研修会やワークショップを開催し、各協議会の情報交換・連携が取れる場を設け組織力の強化を図ることが課題とのことでした。

文教福祉常任委員会

本委員会は10月20日から22日



あわら市の行政施策を視察した文教福祉常任委員会

までの3日間、石川県白山市、福井県あわら市等を視察しました。

白山市においては、文部科学省エコスクールパイロット事業認定校である市立松南しょうなん小学校を視察しました。環境負荷の低減や自然との共生を考慮した学校施設を活用し、環境教育や省エネルギー活動を、学校を核として推進するものです。自然採光を多く取り入れた開放的な校舎で、児童たちはのびのびと学習に取り組んでいました。特に、図書室を設けず、校舎の中央部にオープンな書棚を配置し、司書が児童に対応できるようにしている点は感銘を受けました。読書量・学力において大きな成

果を上げているとのことでした。また、食育を体験活動と一体的に行い、ふるさとの自然と文化を愛し大切に守っていくという愛郷教育ともいえる活動が展開されていました。これは旭市においても大いに参考にすべきと感じました。

あわら市では、「HECE」構想について視察しました。HECEとは「健康」のHealth、「教育」のEducation、「環境」のEnvironment、「コミュニティ」のCommunity、「経済産業」のEconomyの頭文字をとったもので、市の事業をこの5つの視点から体系化したものであるといえます。最初は何のことかわからないというところから始まり、現在では市のビジョンを実現するための一連の施策を表す言葉として周知が図られ定着しているようでした。施策の中身としては、病児保育を通常の保育所ではなく病院内保育所に委託している点、また、「縁結び応援」として、地域に密着した各種団体を「縁結びさん」に登録し、感謝礼として1組10万円を当該団体に支払うなど独自の取り組みもあり、大いに参考になりました。

常任委員会等の構成委員が替わりました

議会に常設されている委員会で、条例や予算などの議案や請願・陳情の審査を行います。旭市議会には、3常任委員会があり、委員の任期は2年です。

また、議会運営委員会と議会だより編集委員会の構成委員も替わりました。

総務常任委員会



| | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 委員 長 | 伊藤 保 | 副委員 長 | 米本弥一郎 |
| 委員 | 平野 忠作 | 委員 | 島田 和雄 |
| 委員 | 太田 将範 | 委員 | 有田 恵子 |
| 委員 | 高橋 秀典 | | |

文教福祉常任委員会



| | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 委員 長 | 伊藤 房代 | 副委員 長 | 林 晴道 |
| 委員 | 林 正一郎 | 委員 | 高橋 利彦 |
| 委員 | 林 俊介 | 委員 | 佐久間茂樹 |
| 委員 | 木内 欽市 | 委員 | 景山岩三郎 |

建設経済常任委員会



| | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 委員 長 | 宮澤 芳雄 | 副委員 長 | 磯本 繁 |
| 委員 | 滑川 公英 | 委員 | 向後 悦世 |
| 委員 | 林 七巳 | 委員 | 飯嶋 正利 |
| 委員 | 宮内 保 | | |

議会運営委員会



| | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 委員 長 | 林 俊介 | 副委員 長 | 林 七巳 |
| 委員 | 伊藤 房代 | 委員 | 伊藤 保 |
| 委員 | 宮澤 芳雄 | 委員 | 米本弥一郎 |

編集後記

今号より、新たな委員会メンバーでの編集となります。議会の動きを発信し、市民の皆様と議会をつなぐことが、議会だよりの役割です。

今号からは、議案の採決状況が掲載されています。いつもの紙面充実を目指し、委員一同協力して取り組んで参りますので、よろしくお願いたします。

また、議会だよりに対する、皆様からのご意見・ご感想もお待ちしております。

(委員長・高橋秀典)

旭市議会だより編集委員会

| | |
|-------|-------|
| 委員 長 | 高橋 秀典 |
| 副委員 長 | 宮内 保 |
| 委員 | 米本弥一郎 |
| 委員 | 林 晴道 |

